

平成 26 年 5 月 12 日朝礼

施設長 桑原英眞

あらためて老健一羊館の社会的役割を考える（入所について）

老健一羊館の使命は介護施設として、

- 1, 居宅療養できない方への施設療養の提供、
  - 2, 居宅療養できる方へのレスパイトケアの提供、
  - 3, 終末期の看取り対応の場の提供、
- この3つです。

従って、初めから永久の住み家と考える方には不向きです。私達の社会的な使命は一言で言えば、「居宅療養を意識した療養支援」であり、安定期の医療の提供と生活リハビリ即ち介護の提供です。

安定期の医療の提供とは、居宅療養下での医療や入院から居宅への架け橋のリハも含めた医療の提供です。

生活リハとは、狭義ではイコール介護そのものです。一方的な受け身型のいわゆる介護のイメージとは区別したほうがよいでしょう。私達の目指す介護はそのような能動的な介護、自立支援マインドを忘れない介護です。

狭義の生活リハ＝介護とは、利用者によって変わって代行することでは無く、あくまでも支援です。残った利用者の意志と残存機能を有効利用できるように何気なく援助をすることです。口腔ケア嚥下・排泄・入浴・更衣・整容・レクなどは、当施設に入所していること自体がリハビリです。従って食事に1時間かければ1時間リハビリしたことでもあるし入浴に1時間かければ1時間リハビリをしたことでもあります。そのような介助をすることが私達の介護であります（——これは当施設スタッフ全員の役割です）。

広義の生活リハとは、狭義の生活リハに加えて、更には絞った残存機能回復訓練（——これは PT/OT 中心の役割です）を追加したものを言います。

老健の生活リハ＝広義の生活リハ であり、「日常生活の中で心身機能の回復をするべく、可能な限りの日常生活自立へ向けた本人の意志と行動のすべて」を言います。

老健の担うリハとは、下記枠の中です。

視点 1: 急性期リハ——回復期リハ——維持期リハ——終末期リハ

視点 2: 医療リハ —— 広義生活リハ(=老健リハ) —— 狭義生活リハ(=介護)